

『お客様へ：ガラス電極洗浄方法について』

5.2 本体保守方法

5.2.1 計器の点検

電極接続端子の絶縁が低下すると、正確な測定が困難となります。定期的（1年に1回程度）に端子板を点検し、絶縁低下の原因となるサビなどがないか確認してください。

本体ケースの汚れは柔らかな布で拭き取ってください。



有機溶剤などは使用しないでください。

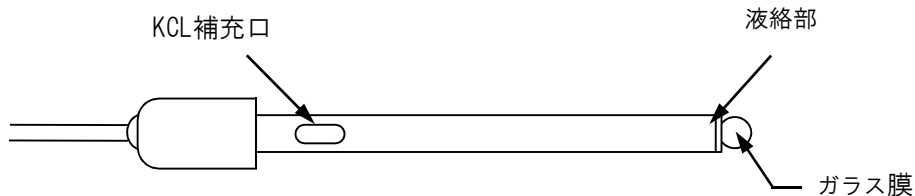
5.3 電極の保守

ここでは一般的なpH電極の保守方法について説明しています。詳細は各電極の取扱説明書で確認してください。

5.3.1 電極の洗浄

電極の汚れは応答速度を遅くしたり、指示ドリフト、不安定の原因になります。電極の先端部（ガラス膜）、液絡部は定期的に点検し、汚れ、コーティングなどを水で洗うなどして清浄な状態を維持してください。電極の洗浄は、標準液校正と同様に行われることをお勧めします。この場合、標準液校正は洗浄の後で行ってください。

pH電極単体図



pH電極の洗浄方法

〔1〕・〔2〕・〔3〕は、汚れの度合いに応じた洗浄順序を表しています。〔1〕で特性が回復しない場合、〔2〕（さらに〔3〕）の方法で行ってください。それでも特性が回復しない場合は、電極の寿命としますので交換してください。

強酸注意

希塩酸が目に入った場合は、粘膜が刺激され失明のおそれがあります。



警告

塩酸の取り扱い時には、必ず保護眼鏡、保護手袋および保護マスクを着用してください。目に入った場合は、直ちに大量の水で15分以上洗顔し医師の診断を受けてください。（洗顔の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄してください。）人体、衣服に付いた場合、やけど（薬傷）を起こす可能性があるため、速やかに脱ぎ捨て、大量の水で洗い流してください。

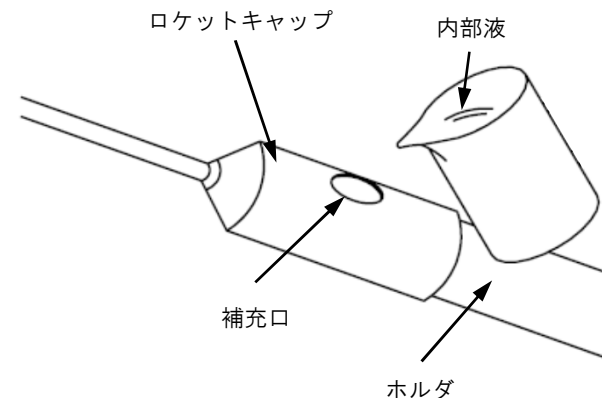


希塩酸への長時間の浸漬をしないでください。

	一般的な汚れ	軟性の付着物の撤去 有機物 セシイ質 藻類	粘着性の付着物の除去 油類 有機物	硬性の付着物の除去 カルシウム塩 無機塩類
◎共通作業 純水で洗いガーゼで 汚れを拭う。	〔1〕	〔1〕	〔1〕	〔1〕
有機溶剤を含ませた ガーゼで拭き取り 純水で洗う。	〔2〕	〔2〕	〔2〕	-
中性洗剤を含ませた ガーゼで拭き取り 純水で洗う。	-	〔3〕	〔3〕	-
希塩酸（1N）に15秒 浸し純水で洗う。 （繰り返し）	〔3〕	-	-	〔2〕

5.3.2 KCl内部液の補充

正しく測定するためには電極内部液（3.3mol/L KCl溶液）の液面が、測定液液面より10cm以上高い位置にあることが必要です。この高さを下回らないように定期的に内部液を補充してください。



5.3.3 保管

電極の先端部（ガラス膜）、液絡部は乾燥させないでください。付属の保護キャップに水道水を入れ、電極の先端にかぶせて保管してください。また内部液補充口を密閉して、内部の乾燥を防いでください。